

達段階によりその対応が異なるということを理解しておくことが必要です。


思春期 (12~18歳)
中学校入学 高校卒業 中学卒業 高校入学

自我同一性と同一性の混乱

<p>第二次反抗期</p> <p>両親や他のおとなから精神的に自立する 性に関する悩みが大きくなる 男性・女性としてその社会的役割を学ぶ 友だち中心の人間関係が強くなる 自分を見つめ直し新しい自分に目覚めていく</p>	<p>自我の確立</p> <p>職業選択の準備を始める 家族離れが進む 社会的に責任ある行動がとれる</p>
--	---

「部活やるぞ」

「勉強
むずかしいのかな」



「親なんか関係ないよ」

「面白くない」

「うるさい」

「むかつく」

「なんで勉強するの」

「あれ カッコいい？」

「将来〇〇になり
たいと思ってるんだ」


「ほっといてくれよ」

「自信なくしたよ」

「ガールフレンドが
いたらなあ」

「ボーイフレンド
ほしいなあ」

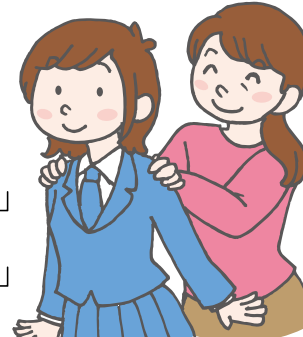
「生きるって
どういうこと」



「大人っぽくなったね」

「自分でしっかり
考えてみようね」

「きみを信じるよ」



子離れ・援助

手放しつつ、しっかり見守る時期です

「あなたの気持ちを聞かせて」

「できることは応援するよ」

「挑戦してみたら」

「相談にのってくれるかな」

「困ったときには
相談にのるよ」

「みんなで
協力してやってみよう」



- 友だちがいなく一人でいる
- ひきこもりがちになる
- 家に帰らない
- お金の使い方が荒い
- たばこ、お酒に手を出す
- 自傷行為をくり返す
- ねむれない
- 人の視線、言動を非常に気にする
- 頻りに腹痛、頭痛を訴える
- 昼夜逆転の生活が続く
- 不安が高じて行動できない
- ツブツブとひとり言が多い
- 成績が低下する
- 化粧、ピアス

家庭内暴力 睡眠障害

○自律神経の異常や精神的不安、過度の緊張などにより、下痢や便秘、ガス過多による下腹部の張りなどがみられます。
★症状による苦痛を理解するとともに、ストレスとなっているものを見つけ、緊張をやわらげ、少しずつストレスにたえられるようにしましょう。

パニック障害

○ストレスなどが原因で、閉鎖的な狭い空間、広場などを歩行中に、突然、強い不安感に襲われ、動悸、息切れ、めまいなどの症状がおこります。
★しばらく安静に過ごしていれば、多くは1時間以内に回復します。治療は、薬物療法や精神療法のため、専門医への受診をすすめましょう。

過敏性腸症候群

自身の成長や人間関係などによるストレスから過度の食事摂取または、食事拒否等により、健康被害が起こります。生命維持を最優先にし、専門医による治療等を考えましょう。話し合う機会を多くし、悩みを受け止めるようにしましょう。また、体重を定期的に測り、体重の急激な増減に気をつけましょう。

リストカット(自殺企画)

○思春期、感情・思考の制御の障害や自己破壊衝動などにより、手首を切る自傷行為のことで、自分を殴る、ボールペンを突き刺す等の行動となつてあらわれることもあります。
★生命維持を第一に考え、傷の場所と深さや大きさを確認しましょう。傷の手当てをしながら、スキンケアに努めましょう。温かく受け入れるとともに、相談できる人と連絡を取りましょう。話を聞きながら落ち着かせましょう。

喫煙・飲酒・薬物乱用